

北条

又

OTARO MAIJO

舞城王太郎

Chu!

CHU!

Chu!

CHU!

講談





講談社文庫

イキルキス

舞城王太郎

講談社

〔著者〕舞城王太郎 1973年、福井県生まれ。2001年、『煙か土か食い物
Smoke, Soil or Sacrifices』で第19回メフィスト賞を受賞してデビュー。
'03年『阿修羅ガール』で第16回三島由紀夫賞を受賞。ほかの作品に
『ディスコ探偵水曜日』、映画とのコラボレーション作品『NECK』『魔
界探偵 冥王星O デッドドールのダブルD』『好き好き大好き超愛し
てる。』『ビッチマグネット』『キミトピア』『短篇五芒星』など多数。

イキルキス

まいじょうおう たろう
舞城王太郎

© Otarō Maijō 2014



講談社文庫

定価はカバーに
表示してあります

2014年3月14日第1刷発行

発行者——鈴木 哲

発行所——株式会社 講談社

東京都文京区音羽2-12-21 〒112-8001

電話 出版部 (03) 5395-3510

販売部 (03) 5395-5817

業務部 (03) 5395-3615

Printed in Japan

デザイン——菊地信義

本文データ制作——凸版印刷株式会社

印刷——豊国印刷株式会社

製本——加藤製本株式会社

落丁本・乱丁本は購入書店名を明記のうえ、小社業務部あてにお送りください。送料は小社負担にてお取替えします。なお、この本の内容についてのお問い合わせは講談社文庫出版部あてにお願いいたします。

本書のコピー、スキャン、デジタル化等の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。本書を代行業者等の第三者に依頼してスキャンやデジタル化することはたとえ個人や家庭内の利用でも著作権法違反です。

ISBN978-4-06-277800-8

イキル
キス 007

鼻ケノご飯 125

173
パッキャラ魔道

255
アンフー
アンフー

無駄口を数える。

285



講談社文庫

イキルキス

舞城王太郎

講談社

東京大学出版会

入字収平下

昭和三十三年

月三三

Design●Veia

Font Direction●Shinichi Konno

イキル
キス 007

鼻ケノご飯 125

173
パッキャラ魔道

255
アンフー
アンフー

無駄口を数える。

285

世本此

世本



イキル
キス

じいちゃんは五年前に死んで去年の暮れにはあちゃんが死んで、とうとう田んぼや畑の世話を毎日できる人間が誰もいなくなってしまうた。お父さんもお母さんも外で仕事をしているし僕も弟の隆司^{たかし}も中学生と小学生で部活だの軟式野球だの何だの忙しいうて言うかやる気がないし、雑草を刈ったり抜いたり土日にできても田んぼや畑の水の管理までは無理で、苗に水をやったりもできないし、今年の田植えは、ビニールハウスを建てて苗を育ててそれを植えるんじゃない、種^{たね}籾^{もみ}を直接田んぼに蒔^まくことになった。元々あつた農法だけど、品種改良されて最近はそういうことが上手でできるようになったのだ。「あ、ほんなら楽やげ」と僕が喜んでゐる横でお父さんは浮かない顔だったが、新しいことを試していかないとね、と僕なんかは思う。おかげでゴールデンウィークを一日潰しただけで田植えは済んでしまう。以前は苗箱を軽トラに積み込んで運んで降ろしたり田植え機に載せたり降ろしたり近くの河に空っぽの苗箱を運んで洗ったりと大変だったが、そういう子供用の仕事がほとんどなくなったので、僕と隆司は居場所もないけど手伝ってるふりをしてるだけでよかった。五月頭の連休はまだ丸まる残っていて、僕も隆司も嬉しかった。

二週間も経つとその田んぼの水面から苗の葉っぱがちゃんと顔を出していて、普通に苗床から植えた他の家の田んぼとも変わらなくて、ほっとするような拍子抜けするような感じだった。他の人らもこの方式で田植えをすればいいのにと僕は思ったけど、そんな簡単にやり方を変えられるはずもないだろう。うちだってじいちゃんかばあちゃんがいて動けばビニールハウスを建てていたはずだ。でも今のうちの状況では、もし今回の田植えの結果がイマイチでも来年も同じように種粃を直接蒔くしか方法はないうし、その出来は運とさらなる品種改良にかかっている。

うちの田んぼの脇の道を行くと国道に出て、それを左に曲がって橋を渡って山を迂回して向こう側に行くと、そこに僕の通う西にし曉あかつき中学校がある。

雨が降るたびに緑がむさむさと増えて濃くなつて、空気が涼しいぬるいからちよつとずつ蒸し暑さの予感みたいなのを漂ただよわせるようになっていく五月が僕は好きで、学校へ行くのに自転車に乗りながら、低い空を急ぐ雲とか、吹きこぼれないよう静かにぐつぐつと煮えているような山を眺めたりしているのだが、五月の十九日になって、うちのクラスの女子が死ぬ。

最初に死んだのは岡田美紀だ。おかだ みき夜に寝ているうちにただ心臓が止まったみたいで、

死因みたいなのは無いと言うか、わからない。内臓にも脳にも病氣や出血などはないし、身体のどこにも外傷はないし、本人も何か訴えたりもしないままいつも通りにベッドに入って死んでしまったのだ。一人目のときは、不思議だなんて話だった。

その二日後に、同じく原因不明に野村幸江が死んでしまうと、不思議では済まなくなつて、岡田のお通夜は家族によつて取りやめられ、岡田美紀の遺体がもう一度病院に戻され、野村幸江とともに死因の調査が徹底的に行われる。二人とも2年A組の生徒。席も近い。まだ十三歳。岡田と野村の死を結びつけるためにいろんな想像がされる。毒性のある何かを二人が口にしたのではないか。どこかに小さな血管の破裂などの見落としがないか。警察は野村が岡田の後を追つて自殺したんじゃないかと岡田と野村が示し合わせて自殺したんじゃないかと……あるいは連続殺人とか？

中学に上がるときに東京から転校してきた本郷雄士は僕の知つてる中で一番最初に連続殺人とか言い出した奴で、それまでも何だかちよつと浮いているような感じだけどそれなりに皆とつるんでうまくやつてたのに、死んだ岡田と野村のここ数週間の足取りや様子をはつきりさせなきやとか言い出した途端に大勢の女子から怒られてしまったし、男子の中にも腹を立ててる人間はいるみたいだった。陰では、岡田と野村は仲が良かったから、死んだ岡田が野村を連れてつたんじゃないの？とか野村が寂しさのあまりに死んじやつたんだつたりして……みたいなことを言つてる人間もいたし僕

もちよつとそんなふうに思つてみたりもしたけど、誰かに怒られると嫌なので言わなかつた。

それから四日後の二十五日にまた2Aの齊藤浩美さいとうひろみが授業中に死ぬと、完全にこれは連続殺人だ、と皆が思う。いろんな人が西曉町に集まり、学校はとりあえずその日と次の日だけ休みになる。僕は行かなかつたけれど、吉尾健二よしおけんじの家に集まった男子の中で本郷がこの三人の死についての推測を何やら演説的にぶつたらしくて、それがふざけているようにしか思えなくて皆が本気で腹を立てる。吉尾の部屋で殴り合いの喧嘩があつて、本郷の自転車が川に放り捨てられる。その場にいた横谷一幸よこたにかずゆきから電話があつて報告を受け、何となく僕にも本郷に対する怒りみたいなのを共有しておいてほしいんだろうなという感じはしたけど、そんな気にはなれなくて、電話を切った後逆の本郷のことが心配になつて、僕は自転車で吉尾の家の方角へ向かい、途中で歩いていく本郷を見つける。怪我はほとんどないようだ。本郷の家のそばまで一緒に帰ることにする。本郷は考え事をしていゝよう、僕はぼけつとしたまま自転車を押していゝて、お互い特に何も話さなかつた。

齊藤が死んで三日目に一応学校は授業をすることになつていたけど、A組の女子は十七人中六人しか来なくて、二時間目からA組B組両方とも休みになつて、昼過ぎにA組の佐々木美代子ささきみよこが死んだという話が連絡網で回つてきた。夕方には僕の家にも男子

が八人も集まってきたいて、そこには本郷もいたから何を言い出すかと皆がちよつと緊張していて、でも本郷は黙って考え続けていた。横谷が本郷に殺人トリック判ったのかよみたいな茶々を入れて挑発していたけれど本郷は横谷をちらりとも見ずに言う。「これは……ひよつとしたら、殺人でも自殺でもないのかもしれない」。本郷は福井弁を喋らないので、そういうところを一部の奴らに疎ましがられてるのもあるだろう……。『かと言って病気ということでもないのかもしれない。病気というよりは、現象に近いんじゃないかと僕は思う。特定の条件で起こる、十三歳から十四歳の女の子の突然死症候群だね。原因不明の突然死というのは実はそれほど珍しくもないけど、でもこんなに短期間で、一カ所で起こった例はどれだけ調べても出てこない……。ここでは何かが起こっているんだ。それが何かまだ判らないけど、死んだ女の子の身体をいくら調べても判りつこないことなんじゃないかって気が、僕はしてるよ。でも、何かここには理由とかがあるはずだ。若い女の子がいきなり死んだりするはずない。呪いとか祟りとか友引とか、そういう心霊現象なんかじゃ絶対じゃないと思う」

なんて言ったその夜に、斉藤浩美の親戚が呼んだ霊能者が西曉町に到着する。三浦華浦と名乗るそのおばさんは幽霊とかと会話ができるんだそうだ。

「そんなのをこんな状態の町に入れるべきじゃないのに」。次の日、本郷が学校で言